



2015年(平成27年)

3月15日

日曜日

遺品整理、トラブル回避策は

遺品をどう整理するか。そんな疑問に答えるべく、千歳市にある遺品整理士認定協会の木村榮治理事長(50)が「遺品整理士という仕事」(平凡社新書)と題した本を出す。業者の選び方やトラブル回避策、遺品整理士自身の心構えなどについて記している。

千歳の専門家 指南書出版へ

木村理事長は4年ほど前に事故で父親を亡くした。その際、遺品を整理する業者とトラブルになり、遺品整理について考えるようになったという。2011年に同協会を発足させ、これまでに約1万人の遺品整理士を誕生させた。本では「現金が残されていない



木村榮治理事長

たことを遺族に伝えたい」「追加料金として法外な値段を求める」など、業界のマイナスイ面についても触れている。きちんと見積書を作っておくか、服装や礼儀作法

はしっかりしているかなど、業者を選ぶポイントも記載。残された家族があとから困らないように、生前整理、老前整理など今のうちにできることをしておくことも指南している。

新書判で約200ページ。税別760円で、月内に全国の主要書店で発売予定。問い合わせは同協会(0123・42・0528)へ。(横山威利)